

広報

さなだまち

NO.375

2004 **11**

特集

菅平のレタスを知る

安全・安心への農家の努力



小島俊樹さん（菅平）

今春、農業系の大学を卒業して、新たに家業の農業に就いた小島さん。「きれいな仕事じゃないので、やりがいがあります。知識を生かしてやりたいことも、いっぱいあります」と話してくれました。

特集 菅平のレタスを知る

安全・安心への農家の努力

ここ数年の間、BSE（牛海綿状脳症）
感染の牛が国内で見つかったり、
輸入野菜から、基準を超える残留農薬が
検出されたりする事件がおきた。
そして、無登録農薬が国内で
使用されていたことも明るみに出るなど、
食の安全・安心への消費者の信頼が
大きくゆらぐ問題が相次いだ。
そして現在、食品の安全を証明するために、
その食品がどのように生産・加工され、

流通されてきたかを明らかにすることが、
生産や、流通する側に求められてきている。
そんな中、わたしたちの町には、
菅平高原というレタスの大産地がある。
ここでは、安全であることを証明する
生産履歴の記帳や、おいしいレタスを
生産するための、様々な努力がある。
今月は、食の安全という新しい課題の中で、
努力する菅平のレタス農家取材した。
そして、わたしたちの町最大の
特産物であるレタスを知り、
食の安全・安心、について考えてみた。

大松山に広がるレタス畑。
冬季はゲレンデとして利用
されている。

特集

菅平のレタスを知る
～安全・安心への農家の努力～

特集

菅平のレタスを知る

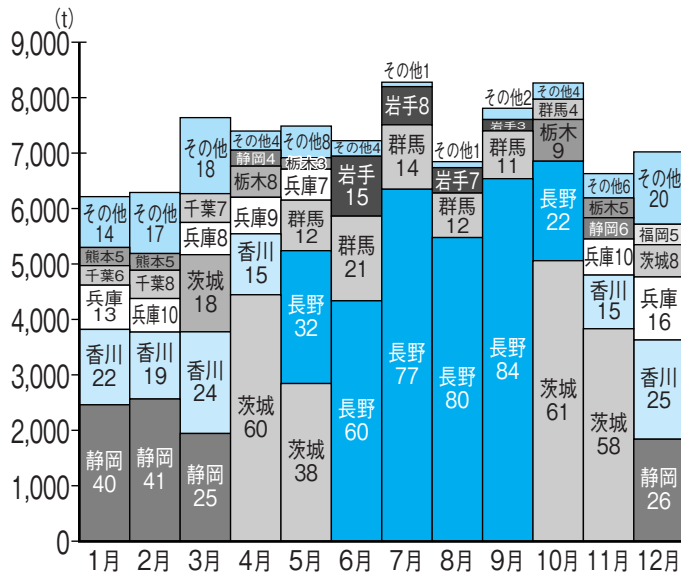
～安全・安心への農家の努力～



②

東京都中央卸売市場のレタス月別入荷割合

(平成15年)



資料：独立行政法人農畜産業振興機構



③

①大田市場での競り。階段に並ぶのが買い手の仲卸会社や、スーパー、八百屋などの顧客。

②夜8時過ぎから、深夜まで全国の産地からトラックが押し寄せる。

③市場に積まれた菅平のレタス。翌朝の競りを待つ。



①



かわぐち つとむ●現在は、競りよりも、前日に卸売会社と仲卸会社との間で値を決める相対取引が多いという。

川口 勤さん 東京青果(株)取締役
販売会社を絞っていることが、菅平の戦略だと思えますね。

東京青果の取扱高は、年間1500億円ほどになります。いきおい東京青果での相場が全国の参考になります。「そこでどのくらいの評価を受けているのか、ブランドとしてかなり影響がある」と言います。また「品質面での強化の取り組みは真剣に行われてきたと感じます」と話す川口さんは、昭和57年から菅平のレタスをみてきました。「今のユーザーは、いいものが出てきても、継続性がないと固定客はつきません。いつからいつまで出荷できて、その間

は、平均的にこのくらい出荷できる。そして商品の品質はこうです」という情報をあらかじめ、顧客に伝えなければ、今は取引が確立しなくなりました」と言います。産地から消費者までレタスを保冷し、鮮度を保つコールドチェーンが確立。商品が不足しない現在、「計画性の高さや、数量の安定性、品質にばらつきがないか、そういうことが選択の最優先です。そういう面で菅平としてのレタスの位置づけを確保するには、苦労したと思います」と話します。

県内7位の出荷量から生まれる戦略

広大な菅平のレタス畑。そこから出荷されるレタスはどこに行くのでしょうか？

それらは、主に東京や大阪などの大都市に出荷されます。左ページのグラフは、東京都中央卸売市場の県別、月別のレタスの入荷割合。冷涼な気候を好むレタスは、長野県が夏場を中心に大きなシェアを持ちます。実際、主要14品目野菜のうち、長野県が生産高1位の品目はレタス。そして、長野県農林業市町村データによるとと真田町の平成14年産レタスの出荷量は、8690t。県内では第7位です。川上村のような大産地ではありませんが、それなりの規模を持つ産地です。

最大の青果物を取り扱うのが大田市場。ここで、出荷された青果物を卸売りする卸売会社は3社です。中でも最大の取扱高を誇り、菅平のレタスを卸売りする東京青果(株)の川口勤取締役は、菅平のレタスについて伺いました。

「菅平のレタスは、東京では、東京青果と、築地の東京シテイ青果でしか販売していません。菅平は、長野県下ではそれほど大きな産地ではないですが、販売会社を集中させるということが、戦略でもあり、持ち味だと思えますね」と川口さん。川上村のような大産地は、全国に大量に分散して出荷しています。「菅平は、その産地を認識してもらうために、大田と築地に絞って、川上のような大産地と同じく、この数量を出していこう」ということだと思えます」と。

市場での評価

産地としての地位を築く菅平高原

産地の信頼を守るために

農薬の回数、出荷前日数などを 管理して生産履歴を記録。



記録する防除日誌は、農家とJAに保存され、依頼があれば提出できる状態にしておく。



トラクターの後ろに付けたタンクに農薬を入れて調合する。水で薄める倍数も厳密に決められている。

安全のためには 妥協ない姿勢でぞむ

昭和40年から菅平で農業を経営。県が認定する長野県農業士の第1期生でもある小林明人さんに話を伺いました。

小林さんが、見せてくれた生産履歴を記録した防除日誌には、レタスの病虫害の種類毎に、使用できる農薬名と、使用時に農薬を薄める倍数、使用できる総合計回数、そして、農薬毎に、収穫何日前まで使用できるか、などが印刷されています。そこにその農

薬を使用した日にちを記入し、使用回数などを管理しているものが、防除日誌です。

農薬は、「過去の記録をみなければ使えない」と言う小林さん。防除日誌と一緒に畑の図面があり、畑のここまでが、いづどんな防除をしたのか、防除日誌と照合されています。そして畑には、ラベルを立て、図面上の境界がわかるようになっていきます。「年間50回から60回、種をまく。その回数だけ防除日誌が必要で、夏の最盛期はほとんど毎日書く。基準に従って作ると

特集

菅平のレタスを知る ～安全・安心への農家の努力～

題があつて、その後、中国産の冷凍ホウレンソウから残留農薬が出た。日本国内でも無登録の農薬が出て、平成13、14年は大混乱だった」と振り返ります。農薬は、農林水産大臣に登録したものしか認められません。無登録農薬の問題が出て、農薬取締法が改正。従来から禁止されていた無登録農薬の販売に加えて、製造、輸入、使用が禁止され、使用基準に違反する使用も禁止。罰則も強化されています。「今の農薬は、残効性が1週間あるかないかの短いものしかない。だから人間が食べても安全。農薬は何年もかけて、膨大な試験をクリアしてはじめて登録できる。しかも使用基準を守って使っている」と話す小林さんは、仮に「出荷したものが、抜き取り検査でひつかかり、公表されれば、その産地はつぶれてしまう」と言います。病虫害から作物を防除するため、農薬を使うことは、集団で生産する産地を守るためには必要です。だからこそ、安全が確保された農薬が登録され、使用の基準も定められています。そして、その安全を証明するのが、使用履歴を記録した防除日誌です。小林さんは、「これだけの量を産地として出すためには、こうした努力をしていることを知って欲しい」と話します。

て登録できる。しかも使用基準を守って使っている」と話す小林さんは、仮に「出荷したものが、抜き取り検査でひつかかり、公表されれば、その産地はつぶれてしまう」と言います。病虫害から作物を防除するため、農薬を使うことは、集団で生産する産地を守るためには必要です。だからこそ、安全が確保された農薬が登録され、使用の基準も定められています。そして、その安全を証明するのが、使用履歴を記録した防除日誌です。小林さんは、「これだけの量を産地として出すためには、こうした努力をしていることを知って欲しい」と話します。

いう誓約書もJAに提出するし、日誌を見れば、出荷するレタスがどう生産されたか一目瞭然」と小林さん。農薬は収穫何日前まで使用可能か決まっています。例えば、出荷まで1週間以上かかると予想して、収穫7日前まで使用可能な農薬を散布。その後、気温が急激に上昇して、5日

で出荷可能なほど成長する場合もあります。その場合は、「出荷を遅らせるしかない」と話す小林さん。使用基準を守る姿勢に妥協はありません。

無登録農薬で大混乱だった平成13・14年

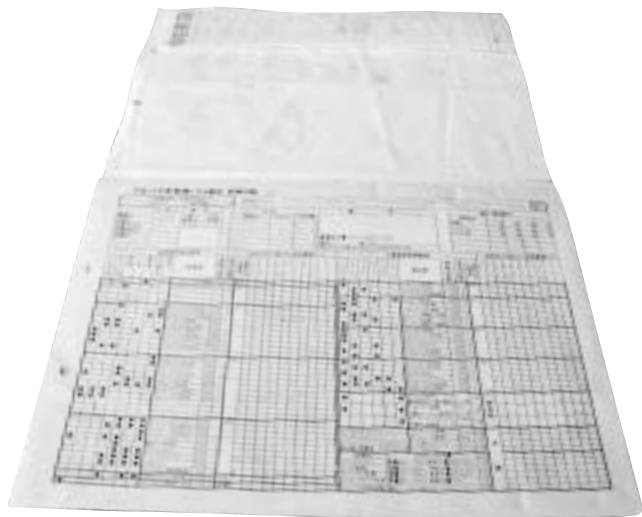
小林さんは、「BSEの問



こばやし あきと●農薬散布は、近隣の畑への飛散も注意が必要で、風の強い日はできないという。

産地として、こうした努力を していることを知ってほしいね。

小林明人さん (菅平)



防除日誌は、種をまくたび作成され、収穫までどんな農薬や、肥料がどう使われたかが一目でわかるレタスの履歴書になっている。

おいしく、安全なレタスのために

土づくりは、土壌を診断して 翌年の肥料を設計。

一生食べ続けても安全
な農薬の残留基準

菅平で農業経営をして4代目。ベテランの先代とともに、20年以上の農業キャリアをもつ伊藤忠成さんに話を伺いました。

食の安全ということが今よく言われますが、と聞くと「農薬は、使用基準を守って使えば何の問題もない」と伊藤さん。散布された農薬の大部分は畑で分解されてしましますが、ごく微量が作物に残る場合があります。これが残留農薬。しかしこの残留農薬の基準は厳密に定められています。伊藤さんは、「それは仮に一生の間食べ続けても大丈夫な基準で、今は過剰にさわがれ過ぎていると思う」と言います。「農薬を使わないと、病気と害虫でレタスは食



いとう ただしげ●菅平でも規模の大きな農業を営む。おいしいレタスをたくさん作りたいという。

伊藤忠成さん（菅平）

レタス作りは難しい。
完ぺきには、たどり着けないね。

べられなくなってしまう。密閉した中なら別だろうけど、自然の中では作れない」と話します。「買う人も腐っている、虫がついていれば嫌だと思うし…」と言います。

土づくりが、
良いレタスのもと

「土づくりがよいレタスのもとになる」と話す伊藤さん。「レタスは本来病気に勝つ力



- ①土壌診断票。肥料成分のバランスや、PHを確認する。
- ②たい肥は、稲わらや廃オガ、豆腐の絞りかすから、3年ほどねかせて作る。
- ③土作りをしてからマルチを張ってレタスが植えられるようになる。

畑の土を採取して土壌を診断してもらう。1枚の畑で10～15箇所ほど採る。

障害が発生します。それを防ぐために、作付けの終わった畑には、エン麦をまきます。これを成長させて、畑にすき込むのだそうです。また、たい肥も必要です。「たい肥で大事なものは、腐食成分」で、たい肥置き場で材料をねかせて作ります。これによって、「土がやわらかくなったり、水はけがよくなったりする」と伊藤さんは言います。

こうした土作りは、秋から翌年春までの作業。レタスづくりは、夏だけですむわけではありません。エン麦をすき込み、たい肥を入れる。土壌の分析をして肥料設計。そして肥料を入れて「畑を1枚1枚作っていく、マルチを張って、植えられる状態にしていくのは、4月後半から始めて、6月中旬ころまで」と話す伊藤さん。「おいしいものを、たくさん作りたいね」と言います。「レタス作りは、全部難しい。100%気に入ったものはできないな。天候にも左右されるし、土が悪かったのか、天候が悪かったのか、その辺の判断も難しい。毎年、試行錯誤している。完ぺきなところには、なかなかたどり着けないね」と話します。

レタス出荷の最盛期は多忙を極める。学校が休みのおともたちも手伝う。



をもっている中で、生育が順調なときは病気にかなりくい「そうですが、「肥料が不

特集

菅平のレタスを知る

～安全・安心への農家の努力～

足したり、過剰過ぎたりした場合や、土壌の排水が悪い場所では病気になるやすい」と言います。伊藤さんは、春と秋に土のサンプルを採って土壌の診断してもらいます。土壌が、酸性かアルカリ性か、また、肥料成分の残量を調べてもらいます。前年の生育が悪かった場所も、原因を調べるためにサンプルを採ります。「肥料成分のバランスが大切」という伊藤さん。肥料成分の分析結果から、「春に肥料設計をする」のだそうです。

菅平のレタスのように毎年同じ作物を作っていると連作



菅平明治開拓の足跡 ～石戸谷山頂の石碑～

ああ 立派であるなあ 関氏二世新右衛門翁は。
翁は上田の人で、早くからこの地の開墾を志し、
計画して心をつくし、努力して年月がたった。
今この地は畑が連なり、かつて原野が広がっていた様子とは
比べものにならない。その沢はこんこんと水がわき出で、
畑をうるおしている。
翁は、性格はもともと高潔で神のような人である。
それゆえに大きな功績をあげたのだ。
わたしたちは、その徳を敬い、景色の素晴らしい石戸谷山を選んで
石碑を建て記念とした。 大正5年 有志者

これは、菅平西組にある石戸谷山頂に建つ石碑に刻まれた大正時代の碑文を現代文に訳したものです。

今日の菅平農耕の基礎となっているのが、明治時代の開拓。そして、上の碑文でその功績をたたえられ、明治時代に菅平の開拓事業を行ったのが上田市の関新右エ門です。

彼は、安政6年5月に上田市に生まれ、昭和9年12月76歳で他界しました。明治33年から菅平の植林に着手しますが、毎年野火の災難におびやかされ、植林を断念。その後開拓に専念したらしいといわれます。新右エ門の娘で昭和23年に70余歳になる人の話しでは、「父は、家業の薬屋を営みつつ、たえず菅平へ往復したり、泊まりこんで開墾に一生懸命であった。3年続きの大不作にあい、この間、米、みそ、しょう油などの食料を車で運び、菅平の人々に分けたため、資産を使い果たし、ついには、庭木まで売り払ったことを覚えている」と伝えられています。

関新右エ門たちの開拓が行われ、明治40年には、国有畑地40町歩が払い下げられ、菅平の人々の個人所有になっています。この畑地開拓に果たした関新右エ門の功績ははかり知れません。上の写真は、大正5年、石碑建立のときのものとわれ、中央の大きな人物が関新右エ門といわれます。今は木々がおおい茂る中、ひっそりと建つ石碑。そこには、菅平明治開拓に偉大な足跡をのこしたある人物の物語がかくされていました。



小島峯男さん(菅平)
こじま みねお●昭和21～22年ころ、菅平で最初にレタスの試作を行った。昔は畑を耕すのは馬で行った。スキの角度と、馬からの距離で耕せる深さも変わるという。

た。農協も初めは手を出さなかった」と振り返ります。その後、昭和25年に朝鮮戦争が始まり、レタスはアメリカ駐留軍への供給品目となります。アメリカは本国からの生鮮野菜の輸送をやめて、現地調達に変更。特需景気となり発展しました。レタスはその後、生活の洋風化や、向上により、大幅な需要の増加をとげます。小島さんの時代をみる目は正しかったのです。

レタス創生期物語 菅平レタスの始まりは 軽井沢の進駐軍へ

「今は食生活も変わって、食べるのは日本人になった」。この感想を語ってくれたのは、小島峯男さん82歳。菅平で最も早くからレタス作りを始めた人です。

小島さんが、レタスの試作を始めたのは、昭和21～22年ころ。兵隊として戦地におもむき、菅平に戻った昭和19年から2、3年たったころです。昭和24年の菅平の作付け割合が、キャベツ37%、白菜25%、馬鈴薯37%という記録が残っていますから、その希少さが分かります。一般的な日本人がレタスを食べることはない時代でした。そして避暑地であった軽井

沢にアメリカ進駐軍関係者が来ていた当時。軽井沢の野菜業者がやって来て、レタスを作ってみないかと勧められたのが最初だったそうです。「東京の市場から進駐軍に納めている業者だった。軽井沢近郊でも作っていたとは思いますが、それでは足りなかったんだと思う。」と話す小島さん。「当時は、そんなよけいなものを作る者はいなかった。面白がつて作ったのはわしくらいのもんで：」と言いますが、「時代が変わって、アメリカ軍が入って来ていた。これからは、レタスが、はやると思った。試作のつもりで作った」と話します。

種は、種業者から買って始めた小島さんでしたが、だれも作ったことのないレタスは簡単に作れませんでした。「肥料設計が普通の野菜と全然違ってあるんだ」と言うとおり、菅平の火山灰土の土地をレタスに合わせるのに苦労しました。「まあ、作物をつくるというより、土作りだった」という言葉にその苦労と、試行錯誤がにじみます。実際に一緒に始めたもう一人の人は、やめてしまったそうです。「2～3年は試行錯誤してい

①馬耕。 昭和30年代までは馬で耕していた。昔は1軒に1頭は馬がいた。
②畑から馬で出荷。昭和34年ころの白菜出荷の様子。昭和25年から40年ころまでは、くぎを打って作る木箱で出荷した。白菜、キャベツは、四角い箱で、レタスは長方形の箱だった。



あなたは、食の安全・安心って どう思いますか？

毎日、口に入れるものだから、だれにも関心のある食の安全・安心。消費、流通、生産のそれぞれの立場の方を感じていることを聞きました。



子育て中の主婦
ホウレン草は、生のものを
買って調理しますね。

高寺奈美子さん（石舟）

高寺奈美子さんは、中学校、小学校、保育園の3人の子どもをもつ、子育てまっ最中の主婦。「上の子どもにア

トピーがあつたんで、卵を使わないで、料理を作ったり、おやつも手作りしたりしていましたね」と話す高寺さん。「輸入の冷凍ホウレン草から残留農薬が出たって聞いたんで、ホウレン草なんかは、生のものを買ってきて調理しています。葉物を買って、洗って食べるようにしていますね」と言います。子どもも大きくなつてきて、量を食べるようになった今、「鶏肉なんかは、輸入の方が安いので、鳥インフルエンザとか気にしないで食べていました」と話します。

実家が菅平で、子どものころレタス作りを手伝った経験もある高寺さんは、「出荷のときに、畑で切ったレタスにマヨネーズや、塩をかけて食べるのは、ごく普通にしています」と言います。

自分子どもたちは「核家族になつて、土に触る機会がないので、小さいころは、実家で芋掘りをさせたり、夫の実家の田植えに連れていったりしました」と言う高寺さん。「せっかくなので住んでいるんだから、食べられるようにしてくれた、じいちゃん、ばあちゃんに感謝しなきゃいけないよって子どもたちには言っています」と話してくれました。

今年、消費生活推進委員会の食品安全部会長を務める大日向京子さんに話を伺うと、食品安全部会では、消費生活展に向けて、食品表示、輸入野菜、食物アレルギーの三つについて、調べて発表する予定だそうです。

菅平のレタスは
やっぱりおいしい！

菅平のレタスを調べる
長小学校3年生



総合的な学習の時間に菅平のレタスと売っているレタスの食べ比べ調査をした長小3年生と担任の酒井和彦先生。

真田町は、高原野菜作りが盛んだということを勉強した長小学校の3年生。町めぐりで、菅平でのレタスの収穫体験をしました。そのときに食べたレタスがとってもおいしかったことがきっかけで、普段買っているレタスと菅平のレタスの食べ比べ調査をしました。方法は、地域の方のお宅に菅平のレタスと、買ったレタスを持って行って食べ比べてもらいました。結果は、菅平産がおいしいという人が29人。買ったレタスは2人でした。子どもたちは、売っているレタスがどこから来るのか、菅平のレタスの出荷先など、総合的な学習の時間に勉強して、11月の参観日に発表しようとして取り組んでいます。子どもたちに感想を聞きま

なので、今、有機野菜とか、無農薬コーナーとか、あるんですけど、果たしてそれが本当なのか知りたいということから始めています」と言います。自身も菅平でレタスや、白菜を出荷する大日向さん。道路沿いの畑で農作業していると、野菜を売って欲しいと言われることがあるそうで、「都会の主婦の人が来て、あつー虫の穴があいているって喜んでるんですよ。それで

思ったんですけど、お店で売っているのは、きれいな野菜ばかりですよ」と言います。大日向さんは、契約栽培で無農薬のニンジン栽培した経験があるそうです。契約栽培は、生産者の名前を明記してありますから、クレームも直に來るそうです。「消費者は、農薬に厳しくなっているのに、虫とか、形が悪いものは、受け入れないですよ」と話す大日向さんは、買う方も「虫が付いていても、大丈夫という認識をもつことが大事だ」と話します。

山崎静子さんは、JA信州うえだの本原直売所で、日々生産者や、直売所に野菜

JAの本原直売所で働く
消費者が望むのは、新鮮で、
安全で、安いものだね。

山崎静子さん（下原）



菅平のレタスと買ったレタスでは、味が違ったので、ほかの県のレタスはこういう味なのかと思いました。授業では、みんなで色々な意見を出してレタスについて勉強できて、楽しかったです。

大井綾花ちゃん



志野純也くん



食べ比べて聞きにまわった家の人たちは、みんな菅平の方がおいしいって言うていました。遠い所から来るレタスは、シャキシャキはしているけど、時間が経っているの、菅平の方がおいしいんだと思いました。

倉島恵美香ちゃん



家でもレタスは作っているけど、菅平の畑は大きくて、全部採るのが大変だと思ひました。勉強してみても、レタスは、色々な所で作っていて、色々な所で売っていることが分かってよかったです。

消費生活推進委員

虫がいても、大丈夫という
認識をもつことが大事ですね。

大日向京子さん（菅平）



特集

菅平のレタスを知る

～安全・安心への農家の努力～

を買いに来る人々と接しています。自身も直売所に野菜を出している一人です。「生産者は、栽培管理日誌を提出して、自宅にも保管していますし、皆農協の指導に合わせて栽培したものを出してくれまふ」と話す山崎さん。「だいたいここに出している人たちは、自分たちが毎日食べていて、余ったものを出すんだから、最低限の消毒しかないですよ。このものは、安全だと思ひますよ」と言ひ

宮島卓渡くん





10月9日、10日に行われた菅平高原秋の収穫祭。レタスや、白菜など新鮮な野菜が販売される。

生産する農家の努力を知ることで、食の安全・安心への認識も深まる。

BSE（牛海綿状脳症）に感染した牛が国内で見つかったり、輸入野菜から基準を超える残留農薬が検出されたりして、ここ数年、食の安全・安心への関心が高くなっています。そして、無登録農薬が、国内で使用されていたことが平成14年に判明して、農薬取締法が改正され、規制が強化されました。

こうした中で、生産したものは、こういう農薬を、このように使用して、安全ですということを証明する生産履歴をきちんと整えることが、昨年あたりから生産者に求められてきました。レタス産地として市場でも認知される菅平のレタス。これを守るために、農家はこうした安全・安心への努力をしています。これは、農業に関係のない人は、知らないことだと思います。

今月は、だれも関心のある食の安全・安心への菅平レタス農家の努力を知り、わが町の特産物レタスは、安全ですということを、多くの人に知ってほしい。そんな思いから企画しました。取材でお聞きした何人かの農家の方が、「一度、問題が出たら、産地は終わる」ということを言っていました。そうした危機感の中で農家はまとまって努力しています。また、農家以外の方も、マスコミで報道されていても、実感としては、冷静に受け止めているように感じました。産地であるわたしたちの町で、単に農薬を使うから、心配と考えるのではなく、商品として販売するためには、最小限の農薬は必要ということと、それは、きちんとした根拠と、厳格な基準を守って使われていることを、知ることが大切だと思います。それによって、食の安全・安心に対するわたしたちの認識も深まるのではないかと思います。これは、産地を抱えるわたしたちの町だからこそ、知り、考えておきたいことだと思います。

参考文献：菅平高原誌、長農協のあゆみ

特集

菅平のレタスを知る

～安全・安心への農家の努力～

と話す田辺さんは、トラクタの消毒機に磁石の中を水が通過する機械をつけて、水の粒子を細かくすることで、「使用する農薬の量を減らして同じ効果を得る」試みをしているそうです。ただ、「減農薬と言われるのは回数を減らすことなんですけど」と言います。「病害虫は、天候で状況が非常に変わります。天候はだれにも平等なんです、天候で左右されない野菜を作る土づくりが大切になると思う」と話してくれました。



JA信州うえだ

農家がどれだけ積極的に取り組んでいるかわかって欲しいと思いますね。

しおがわひさと
塩川寿友さん（営農部次長）



講

習を受けて県から認定される長野県農業士協会の

安全と言うだけでなく、どうなっているのか、決められたとおりやっているのか提出できるようになっていきます」と言います。そして、安全・安心に向けた取り組みに、「これだけの産地を抱えているのだから、力を入れて皆で取り組もうと言って、そうした姿勢を見せてくれたのが、菅平の皆さんです。地域の皆さんが、こうしたことにどれだけ積極的に取り組んでいるかをわかって欲しいと思いますね。農家の皆さんは、真剣ですよ」と話してくれました。

上小支部長を務める田辺幸一さんに話を伺いました。農業については、散布しているときに「ドリフトと言って、隣の畑に飛んでしまう場合がある」そうで、その畑に収穫間近の野菜があつて、基準を超える残留農薬として出てしまつても、結局「出てしまえば同じだから…」と言う田辺さん。「マスコミにたたかれれば産地は終わりだから、使用時期や、回数に気を使って、決められた基準に従ってやっていくしかないです」と言います。

「農薬は、使わなければできないですから、効率的にこのタイミングには、この農薬を使うというようにしていく」

長野県農業士協会上小支部長

天候で左右されない土づくりが大切だと思いますね。

たなべこういち
田辺幸一さん（菅平）



合併住民公聴会を開催

10月8日、文化会館で、合併についての住民公聴会が開催されました。
この公聴会は、合併協議に住民の声を反映することを目的として、協議会を構成する4市町村で開催されたものです。
公聴会は、はじめに協議会から新市建設計画、地域自治センターなどの内容を説明。その後会場の住民の方から、質問や意見をいただきました。今月は、協議会の説明と、出された質問や意見と、それに対する市町村長などの答えをお伝えします。

協議会からの説明

公聴会では、はじめに合併協議会の宮川事務局長より、説明がありました。主な内容は次のとおりです。

合併の背景

住民生活や地域の産業に大きな変化が訪れている中で、自治体は、財政力、人的資源、産業の力などを高めるため、一定の人口規模をもち、総合

力をつけることが必要です。
住民生活の基となるこの地域の産業面では、研究施設や工場の相互移転も含め、技術関連にしても一体をなしています。真田町においても、雇用という面で、大きな影響を受けることになります。
農業は、地産地消という地元で取れた安全安心なものを、地元で消費・加工して、伸ばしていく取り組みも、互いに持ち寄ることで、より可能性は大きく広がります。
観光は、真田町の菅平高原をはじめ、この地域の力を結



合併のゆくえ ②5

10月8日に開催された住民公聴会。前方のスクリーンを使って説明が行われた。

新市建設計画

新市建設計画の策定は、合併協議の大きな柱になります。人口や財政の状況を把握した上で、合併後の10年間でどんなまちづくりを展開するのかという全般にわたる計画となります。

重点施策として、次の4点を掲げさせていただきました。
■新たな自治の創造
■少子高齢社会への環境整備

■にぎわいと交流の促進
■安心・快適な生活基盤の整備

次に、真田町の地域別整備の方針として、次の3点を挙げています。

●観光と農業が結びついた魅力ある農業を展開し、ブランド力を高めます。

●菅平高原の観光を市全体で連携して、訪れる人の満足度をあげ、広域観光の拠点としての役割を担います。

●生涯学習や文化活動を推進

できる環境整備と支援を進めます。
真田町の文化や自然、人の営みは、すたれることなく引き継がれていくものと考えています。周りと相乗効果をあげて共存共栄を目指していくこととなります。

地域自治センター

新市建設計画を実現していくためには、行政だけで進めていくことはできません。住民の皆さんの満足度を高めていくために、合併後のまちづくりの中で、自治の仕組みというものを形作っていく必要があります。こうした仕組みとして、地域自治センター構想を提案しています。

これは、今の役場が自治センターに生まれ変わります。地域自治センターでは、次の三つの要素を発揮したいと考えています。

■地域の個性を生かす
■身近な場所での行政サービス
■力をあわせた地域づくり

センターの目指すべき機能は、●住民に身近な業務はセンターに総合支所を置いて展開し

集し、一体的に取り組むことで、ここに訪れる人を地域全体でひきつけ、可能性が広がられます。

人口推計

将来人口推計では、今までの人口の伸びに、合計特殊出生率を用いて推計しました。真田町は1・51人。10年後には500人以上の減少。20年後には1300人の減少。1万人をすぐにも割り込むと予想されました。65歳以上の人口は、10年後には3000人近くなり、20年後には3300人と、高齢化率32・3%になると予想されました。

働き世代といわれる64歳以下の人口は、1300人も減少と予想されました。

15歳以下の人口は、600人近い減少予想です。少子化の顕著な傾向を見せており、地域全体で子供たちを育てるなど、少子化を最大の課題とする必要があります。

財政予測

真田町が合併しない場合に

財政がどうなるのか、人口やこの地域の経済動向も踏まえて推計しました。

推計結果は、貯金を取り崩しても、なお毎年財源不足が生ずる結果となり、その額は、多い年では5億円もの赤字が出ると予想されました。

この不足を埋め、なおかつ道路や学校・福祉を維持し、観光や農業の振興、下水道や介護保険会計の維持などに必要なお金を工面するには、思い切った支出の切り詰めを行い、事業選択を相当厳しくする必要があります。

合併しない場合の推計は、大変に厳しい結果になっています。行政のすべてを見直し、町民の皆さんに、歳出の削減や住民負担をお願いしなければなりません。また、住民にまちづくりにかかわっていただくことが必要となります。

反対に、4市町村合併した場合の財政推計では、合併効果により削減効果は顕著に出る結果となり、住民サービスを維持しながら効率化が図られ、削減額は353億円と試算されました。職員は、10年間で187人の削減が可能で、行政経費も大幅に減額できるだろうと推計しています。



公聴会には、300人ほどの人が集まった。会場からは質問や意見がだされた。

ます。

●住民の声の反映機関として、地域協議会を置きます。

●住民自らがまちづくりに取り組む場とします。

総合支所では、住民に身近な業務のほとんどを行うために必要な職員を配置し、現在役場で行っている7割程度の業務を行います。

地域協議会は、住民の声を行政に反映させる組織となります。市長は、地域の重要課題が生じた場合には、協議会の意見を聞くとしています。

そして、行政と住民が一緒になってまちづくりを進める、協働といわれるまちづくりの推進役を務めます。

各地域にまちづくりの拠点機能として、議場などの空きスペースを活用して、住民が地域づくりに自ら取り組む、例えば福祉や生涯学習などに取り組む場を確保したいというものです。

議会の定数と任期

合併した場合の議会はどうなるのでしょうか。地方分権時代、議会の責務というもの

も大変重いものになるといわれています。

現在4市町村の議員定数合計は80人。特例法では、激変緩和ということも想定して、最長2年間、合併後もそのまま任できる特例があります。在任特例は使わないこととしています。

その他、定数特例という制度や最低2以上の定員を割振る選挙区制度もありますが、今後小委員会での更なる協議をお願いしています。

会場との 質疑応答

説明に続いて会場からの質問や意見に答えました。

地域意見の反映は？

問い 地域自治センターの中では住民自治活動の支援が盛られている。真田町では区が利益代表となっているが、今までどおり地域づくりの意見は反映されるのか。

箱山町長 財政・職員管理等は本庁へ移し、他の業務はそのまま残します。また一定予算の要求権と執行権を持たせます。区から要望のあった事

項は地域協議会の中で審議し、本庁へ要求していく方法になります。

自治センターの予算権限は？

問い 地域自治センターの予算権限はどうなるのか。地域の市議会議員が少なくなる中で要望が受け入れられるのか。

柄沢助役 分権型合併の具体的な方法として地域自治センターがあります。予算などの最終的な権限は今後検討しますが、かなりの権限が与えられると考えています。

宮川事務局長 地域の重要事項が生じた場合は、市長は地域自治センター内に設置する地域協議会の意見を聞くことになっています。合併の約束

箱山好猷（はこやま よしのり）真田町長。
合併協議会副会長。



柄沢衛（からさわ まもる）真田町助役。
合併協議会委員。

ことが社会情勢の変化によって、変更しなければならぬ状況になった時も、地域協議会の意見を聞き、住民の理解を得なければならぬことになっています。

新市の名称は？

問い 住民の意識として、対等合併か、吸収合併かのどちらの印象を受けるかは、市町村名が影響すると思う。アンケートをとつても数では大きい所に負けてしまう。吸収合併でないということで、思い切つて新市名を考えて欲しい。

箱山町長 この地域の合併は対等合併であり、たとえ新市名称が現在ある名称となつても、すべての市町村はいつた

視野に入れた意向確認が必要であると考えています。

合併しない場合は？

問い 合併しない場合のシミュレーションは年5億の赤字となり、今より負担を上げてサービスを低下しなければならぬが、合併しない場合、そうしたことへの住民理解を得て施策ができるのか。

母袋上田市長 建設事業費等の縮小や行財政改革が必要であります。その中で、新しい



町民から質問や意見がだされ、市町村長や、真田町の協議会委員が答えた。

市が生まれてくると思います。箱山町長 納税者が負担増に耐えられるのか。またサービス低下にも耐えられるのか。大きな問題であり、難しい状況であると思います。

堀内丸子町長 健全財政を維持しながらまちづくりを進めてきたが、社会情勢などから大変厳しい時代となりました。合併できなかつた場合もその

地域は残るわけですから、住民皆さんに負担を今以上にいただくこととなります。同時

にサービスの低下もでてきます。住民協働のまちづくりが必要になると思います。

下村武石村長 村の財政がこれほど厳しくなっているとは思いませんでした。経費削減をして、さらに住民の皆さんの負担を上げたとしても、今の福祉などは守れないと思います。今後も財政状況は厳しくなることから、合併についてしっかりと考えてほしいです。

リコールについては？
問い リコールの手続きについてはどう考えているか。

母袋上田市長 肅々と協議会を続けてきており、住民の声も聞いてきました。真田町も、町長や議会が住民の声を大事

母袋創一（もたい そういち）上田市長。
合併協議会長。



堀内憲明（ほりうち けんめい）丸子町長。
合併協議会副会長。

にしながら、しっかりと進められていると思います。

箱山町長 住民の声を聞かないとして、リコール運動を起こされていますが、この地域で住民の声を最初に聞いてきたのが真田町であると思っています。住民懇談会、住民アンケートなど再三実施し、住民の声を十分に聞いてきました。リコールに対しては残念であります。

堀内丸子町長 真田町は、住民の意向を踏まえたうえで、手続きを進めてきたと思っています。国の状況をはじめ、合併に関する情報提供を住民に知らせる、いわゆる説明責任を果たしてきたと思います。

下村武石村長 箱山町長と

ん合併日前日をもつて歴史を閉じます。そして新市名称のもと、新しい市が発足することになります。

佐藤議長 新市名称は、限りなく「真田市」であつてほしいと願っています。たとえ新市名称が真田市とならなくても、長野県〇〇市真田町となり、「真田町」は消え去るものではないと思います。

意向調査は？

問い 合併の判断材料として意向調査の考えはあるか。

箱山町長 国の三位一体改革の基本方針や合併協議会の方針が決まり次第、町民の皆さんに説明します。方法は決まっていますが、住民投票も

佐藤公至（さとう まさのり）真田町議会議員。
合併協議会委員。



は、5年半以上一緒にやってきましたが、住民の皆さんの声を聞かないような方ではないと思います。

自校給食については？

問い 自校給食について、上田はセンター化の話もある中で、真田だけ特別に自校給食のままいられるのか、余計に経費がかかる分は受益者負担とはならないのか。

柄沢助役 真田町では、各小中学校において自校給食を続けていくため、給食室のドレイシステム化事業を実施しています。合併協定にしっかりと記載して、約束ごととして自校給食が守られていくものと考えています。

下村聖（しもむら さとし）武石村長。
合併協議会副会長。





男女共同参画推進委員会だより③

10月に行われた男女共同参画推進委員会。委員のアイデアを持ち寄りこのページの原稿もできる。

家族の助け合いがあつてこそ

息子の得意料理は、チャーハンと焼きそば。それも野菜は少してお肉がいっぱい。私が仕事で帰りが遅くなつても、文句一つ言わず料理を楽しんでいる。夫のストレス発散法は、流しに山のようにたまつた食器を洗うこと。その横でテレビに夢中な私。何も言えず気をもんでいた義母も、いつしかそれが自然な風景となつていく。

朝食後の後片付けとゴミ出し。夫婦で分担すれば一緒に終わる。洗濯物を干したり、部屋の掃除も分担すれば、二人で一緒にお茶を飲んだり話したり、テレビや新聞もゆつくり見る時間もある。

日々の家庭の仕事は分け合つてすることにより、お互いの気持ちもわかり合え、やさしくもなれるのでは。

どここの家庭でも無意識の内にお互いが協力しあつて暮らしていると思います。例えば、お母さんが寝込んだ時はお父さんが食事の用意をしたり、二人で畑を耕したり草むしりしたり…。何でも対等というのではなく、ほんのちょっとした心遣いがあれば、家庭の共同参画につながっていくのではないのでしょうか。

クッキング

No.96

鳥ひき肉だんごと白菜のスープ

(4人分の材料) 141kcal.塩分1.8g

(A) 水…6カップ 鳥がらスープの素…小さじ2 昆布…10cm 酒…大さじ1
鳥ひき肉…250g 白菜…300g 長芋…50g まいたけ…100g しょうが…1かけ 片栗粉…大さじ1 塩・こしょう



寒い冬は温かいスープでお食べください。
小林満子さん(赤井)

(つくり方)

- ①鍋に(A)を入れて20～30分おく。ボウルに鳥ひき肉、塩小さじ4分の1を入れ、粘りがでるまで混ぜる。長芋は、皮をむいて薄い塩水で洗い水気をふいてポリ袋に入れ、すりこ木でたたき、これを鳥ひき肉に加えて、片栗粉を加えて均一に混ぜる。
- ②①の鍋を沸騰させたら昆布を除き、①のひき肉をスプーンで一口大にすくい取り加える。ざく切りにした白菜の軸と裂いたまいたけを加え14～15分静かに煮る。白菜の葉を加えてさらに10分煮て、塩とこしょうで調味してすりおろしたしょうがを加える。





あの人を訪ねて ⑥2

県のレベルをもっと上げたいと思いますね。

田守竹夫さん（大日向）

レスリング競技で埼玉秋季国体に出場

埼玉県で10月23日から6日間の日程で開催された第59回国体秋季大会。

そのレスリング成年男子の部グレコローマンスタイル84kg級に県代表選手として出場した田守竹夫さん（大日向）を訪ねました。

レスリングは、フリーとグレコローマンの2スタイルあります。フリーは、全身を自由に使いますが、グレコローマンは、下半身を使うことは反則。田守さんは「グレコローマンは、寝技に持ち込んでそこから技を展開する」と言います。

北佐久農業高校、山梨学

たもり たけお●上田市の塩田出身で、今春からJA信州うえだ菅平支所で営農指導員として働く。本気で働く農家の人たちをみて、自分もしっかりやろうと思いますと話す。

院大学とレスリングを続けてきて、今春JA信州うえだに入り、菅平支所で営農指導員として働き始めた田守さん。今回で国体出場は6回目。「高校時代は少年の部で国体優勝、インターハイは3位です。大学に入ってから、全日本3位。大学3年のとき、カナダで行われた世界学生大会で4位だったです」と話す戦歴は素晴らしいもの。今後、「レスリング再興のために、北農とか、上田西に生徒をおくつて、県のレベルをもっと上げたいと思いますね」と話してくれました。

こんにちは読者です

41

このコーナーでは、広報に寄せられた意見について考えます。皆さんのご便りをお待ちしています。



声

有線で聞いて
広報で見てよかった

お一人目「子どもたちが作文で素直な気持ちを表現」は、有線放送され、聞き入りましたが、広報でもこうして受賞作品が記載されていて、また感動しました。

お二人目 有線放送で聞いて

答

素直な気持ちには
新鮮な感動が

有線のスピーカーから流れる子どもたちの作文。また広報に掲載された作文には、家族や友達への素直で、温かい気持ちがあふれていました。

子どもたちの素直な気持ちに、有線、広報のどちらで受けても、新鮮な感動を生むのだと思います。

いましたので、3人の写真が載ってきたのは大変よかったです。昔は読み、書き、ソロバンと言いました。作文はその人、その人の、人間性が問われますので、半田君の文章は、その家庭の温かさが伝わってきます。



真田町一周駅伝大会

42チームが激走 菅平A11連覇達成！

10月17日（日）、秋晴れの中、第46回真田町一周駅伝大会が開催されました。町発足の年に始まった伝統あるこの大会。選手が6区間23・7kmをタスキでつなぎました。



42チームが一斉にスタート

〈Ⅰ部〉		
第1位	菅平A	1時間25分31秒
第2位	竹室A	1時間27分08秒
第3位	荒井	1時間31分01秒
第4位	大畑	1時間31分17秒
第5位	中原	1時間33分08秒
第6位	菅平B	1時間34分00秒
〈Ⅱ部〉		
第1位	菅平K	1時間26分50秒
第2位	佐助走友会	1時間36分12秒
第3位	菅平N	1時間38分46秒

今年は1部29チーム、2部（分館以外の部）13チームが参加し優勝を目指して健脚を競いました。

今年も、招待チームの姉妹町和歌山県九度山町から2チームが参加。また真田クラブから2チーム、そして上田警察署から1チームがオープン参加。また、女性チームの出早レディースが初参加をし、菅平中学校の女子チームとともに、大会を盛り上げてくれました。



「お願い」「ガンバッテ」

初参加の出早レディース

〈オープン参加〉

九度山町A	1時間47分51秒
九度山町B	2時間00分02秒
上田警察署	1時間35分30秒
真田クラブ幸村	1時間37分34秒
真田クラブ佐助	1時間40分13秒
〈区間1位〉	
1区 古沢 拳（竹室A）	14分21秒
2区 矢島正明（菅平K）	12分50秒
3区 滝崎貴雄（大畑）	14分57秒
4区 嶋田真富樹（竹室A）	13分27秒
5区 宮崎幸稔（菅平A）	12分16秒
6区 津端広輝（菅平K）	14分14秒



11連覇達成で手を交わす菅平A

大会結果

ナイターソフトボールリーグ戦
5月17日（月）～7月27日（火）
運動公園グラウンド

優勝 きさらぎ
準優勝 荒井
第3位 S T C

第20回真田町硬式テニス大会
9月12日（日）運動公園テニスコート
〈女子ダブルスの部〉

優勝 上原由美子・由良井早子
準優勝 鶴殿ナヲ子・津村由美
第3位 塩川よし枝・中村智子
〈男子ダブルスの部〉

優勝 中川則幸・古田 稔
準優勝 広瀬 悟・桜井 明
第3位 飯塚義隆・M・デビット
町長杯争奪野球選手権大会
8月26日（木）～9月18日（土）
運動公園グラウンド

優勝 下原ウインズ
準優勝 戸沢
第3位 出早マシンガンズ
役場ジェットボーイズ

サッカーリーグ戦

6月2日（水）～9月22日（水）
運動公園グラウンド

優勝 チャンプ
準優勝 J A S R A
第3位 エベンカリローデット
10月13日（水）
お屋敷公園マレットゴルフ場

優勝 古市重義（中原）
準優勝 堀内芳孝（田中）
第3位 永井浅吉（石舟）

お忘れ物に気をつけて！
運動公園のグラウンドや町民体育館を使用した際、忘れ物をしないよう気を付けて帰りましょう。

人権教育学習会を終えて

9月27日から10月7日にかけて、「あらゆる差別を自分の問題としてとらえ直そう」をテーマに、町内34の会場で人権教育学習会を開催しました。

こつこつと回を重ねてきたこの学習会も、今年で30回目を迎えました。今回は男女の性差による役割意識の解消（ジェンダーフリー）に関する問題と、個々の人権的課題を全体の問題として共有するための方策について、会場ごとに参加者全員で話し合いました。

一昨年、昨年に続き、ワークショップによる学習形式とし、指導者には町内小・中学校の先生方をお願いしました。公民館という社会教育のホームグラウンドで、地域のみなさんとの交流も併せて行っていたきました。

参加された方々からは、「面倒くさいと思ったが、参加してみたら意義のある会であった。」「PTAの親ごさん方にも大勢参加いただいて、意見交換をしてみたかった。」「相手の意見には納得できるところとそうでないところがあるが、お互いに尊重し合えることが大切だと感じた。」

「確かにワークショップは意見を出しやすいが、同和問題に限って言えば、視点がぼやけるような気がする。」「学習会が終わって、少し優しくなったような気持ちでした。」など、たくさんのご意見を出していただきました。手作りのチラシやポスターで人集めをしていただいた分館役員さんもうっしやるなか、参加者の減少に歯止めはかかりませんでした。各会場とも中身の濃い学習が展開されたようです。



ワークショップでなごやかに進められた学習会

教育相談のお知らせ

11月の教育相談を次の日程で開催します。相談を希望される方は、開催日の1週間前までに、お申し込みください。

日時 11月21日（日）午前9時～12時
会場 真田町文化会館会議室
お問い合わせ・申し込み先
学校教育係 有線2043
☎72-2655

文化協会加盟サークルの紹介⑯

◆真田氏史跡研究会◆

代表 有賀国泰さん（☎74-2385）

真田町に住んでいるので真田氏のことをもっと知りたいという発想で平成9年にスタートしましたが、現在会員は22名、毎月一回の月例会で史跡めぐりを楽しみながら活動を続けております。

会員は、みんな真田氏の大ファンであり、六文銭マークが大好きな人ばかりです。

真田氏の史跡めぐりをすればするほ

11月の図書館だより

今月のお話し広場

日時 11月20日（土）午前10時～
場所 児童図書室
担当 図書館ボランティア
おとぎの会のみなさん

今月の休館日

・月曜定例休館

1日（月）／8日（月）／15日（月）
／22日（月）／29日（月）

・祝日の休館

3日（水）／23日（火）

・特別整理のための休館

9日（火）／12日（金）

・月末整理のための休館

30日（火）

※これからも、永く、気持ちよくご

どに、私たちの郷土より輩出された真田氏の実力や魅力がわかります。信玄の懐刀（幸隆）、表裏比興の者（昌幸）、日本一の兵（幸村）、忠節の松代藩祖（信之）など、異名で語られる真田氏一族です。

史跡めぐりの先人、故清水憲雄氏の著書「真田氏追慕」や、作家、永富明郎氏の著書「真田の里紀行」などを熟読しつつ真田氏の軌跡を私たちと一緒に歩きませんか。現在、真田氏歴史館のボランティアガイドにも取り組んでおりますので、お気軽にご入会ください。

利用いただくため、ご理解ご協力をお願いいたします。
おすすめの本

『精進百撰』水上勉（岩波書店）

食欲の秋。おいしいものをたくさん食べたい季節ですね。これは、先日亡くなった水上さんの著された料理本です。

体によくて、おいしくて、そして、健やかにゆったりと年を重ねるヒントがあります。どうぞ、読んでみてください。

新着図書を紹介

- ◆「介護入門」モブ・ノリオ
- ◆「空中ブランコ」奥田英朗
- ◆「『明大前』物語」窪島誠一郎
- ◆「上田・東御・小泉の今昔」郷土出版社



生活情報

Information

家庭で養育できない子どもの里親になりませんか

里親制度は、さまざまな事情により家庭で養育できない子どもを個人の家庭に預けて、その温かい愛情と家庭的環境の中で子どもを養育する制度です。そのような子どもに理解のある方、里親になりませんか。

問い合わせ 福祉係
有線 2022 ☎72-2203

学生就職面接会を開催します

東信地域年内最後の学生向け面接会です。ぜひご参加ください。会場では、人事担当者と直接面接していただきます。履歴書を必要部数持参してください。何社でも面接を受けることができます。

日時 11月12日（金）午後1時～4時

場所 上田東急イン 国際クリスタルホール

参加事業所 上小地域の主要企業約60社を予定

面接対象者 17年3月新規大学・短大・専修・高専・高等学校卒業予定者

問い合わせ ハローワーク上田
☎23-8609

自衛隊生徒の採用試験受付開始

受験資格 15歳以上17歳未満の男子で、中学校を卒業または卒業見込みの方

受付期間 11月1日（月）～1月11日（火）

試験日 1月15日（土）
説明会 11月21日（日）午後1時～／自衛隊上田募集事務所
問い合わせ 自衛隊上田募集事務所 ☎22-5267

さなだの郷野沢菜まつりにおこしく下さい

豚汁サービスなどがある会場もあります。皆さんおこしく下さい。

真田町農業・農村活性化、真田町認定農業者連絡会研修会

町に活気！山里の味、人の味、活性化研修会

講師 白戸 洋氏（松本大学総合経営学部助教授）

日時 11月24日（水）午後6時～

ところ ゆきむら夢工房

遊休荒廃地の活用や、景観作物も兼ねて栽培するそばづくり、炭焼きの復活など町内活性化組合の活動事例発表と、松本大学の白戸助教授の元気な地域づくりの話を聞いて、意見交換会と交流を行います。皆さんおこしく下さい。

日程

開会 午後6時

事例発表

○日だまりの里活性化組合

○角間活性化組合

○曲尾活性化組合

講演・意見交換会 午後6時30分～

交流会 午後8時～

白戸 洋氏プロフィール

昭和34年 神奈川県生まれ

昭和58年 慶応義塾大学卒業

三島平活性化組合 場所／三島平上部橋近く 日時／11月27日（土）28日（日）午前9時～午後3時30分

竹室活性化組合 場所／県道本原バイパス沿い 日時／11月20日（土）21日（日）午前9時～午後3時30分

大日向ふれあい市場 場所／大日向野菜集荷所 日時／11月23日（火）午前8時～売り切れまで
ふれあいさなだ館ふれあい市

日時／11月23日（火）午前9時～午後2時

振興公社新鮮市 日時／11月中旬～ 午前8時～午後2時

J A本原直売所 日時／11月中

入場無料

日本工営㈱入社

平成4年 松商学園短期大学専任講師

平成14年 松本大学総合経営学部助教授

現在 コミュニティにおける住民参画の研究、若者の地域における参画実践、地域づくりの実践への参加を行う。

問い合わせ 農林係

有線 2032 ☎72-4330



旬～ 午前8時～午後1時

問い合わせ 農林係

有線 2024 ☎72-4330

悪質商法の手口と対処方法の学習会

日時 11月26日（金）午後3時～
場所 役場3階講堂

演題 最近の消費者生活相談状況、悪質商法の手口と対処方法

講師 上田消費生活センター所長 北原正雄氏

問い合わせ 生活環境係

有線 2046 ☎72-2204

住宅用太陽熱利用システムの補助制度の応募受け付けます

補助対象者 集熱器の総面積75㎡までのソーラーシステムを設置する方

補助金額 集熱器面積に応じた額で、6㎡で約10万円、75㎡で125万円が目安です。

詳しくは問い合わせください。

問い合わせ （財）新エネルギー財団 太陽熱利用部

☎03-5275-9566

長野絹子と青い目の人形展におこしく下さい

日時 11月12日（金）～23日（火）午前10時～午後5時

場所 坂城町「鉄の展示館」

入館料 大人300円、高校・大学生200円、小中学生無料

問い合わせ 坂城町教育委員会
☎82-3111（内231）

交流作品展におこしく下さい

町内各学校の自律学級児童生徒が制作した作品を一堂に展示します。「風の工房」や「OIDEY Oハウス」との交流で作った作品

も展示します。

本原小 11月5日（金）～15日（月）

真田中12月10日（木）～20日（月）

菅平小中1月7日（金）～17日（月）

学校が休みの日は見学できません。

問い合わせ

傍陽小 武井☎73-2312

長 小 酒井☎72-2012

町事業の落札業者（8・9月分）

菅平浄化センター管理用道路工事
578万円 木島建設㈱

菅平浄化センター導水渠工事

1,817万円 ㈱菅平土建

三日城1号線道路改良工事

2,100万円 木島建設㈱

菅平下水道マンホール蓋交換工事

735万円 ㈲新井建設工業

羽根尾西組線道路改良工事

2,888万円 ㈲堀内建設

森林空間総合整備事業 林内歩道工事（根小屋城）

998万円 ㈲堀内建設

森林空間総合整備事業 林内歩道工事（尾引城）

525万円 ㈲池田組

乳幼児健康診査と予防接種

（11月6日～12月5日）

乳児健診 11月26日（金）午後1時15分～1時40分受付

場所／保健センター

対象／16年1・4・7月生まれ

ポリオ投与 11月10日（水）午後1時15分～1時40分受付

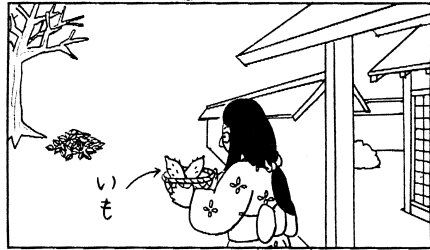
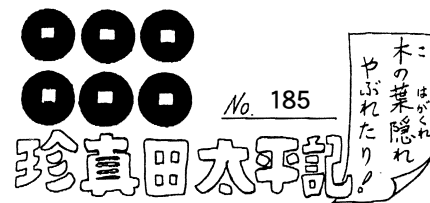
場所／保健センター

対象／1回目は16年1～6月生まれ、2回目は15年7～12月生まれ、7歳6ヶ月未満の未投与児

三種混合 12月～17年2月

場所／本原医院・小林医院

対象／初回は16年3～8月生まれ、追加は14年9月～15年2月生まれ、7歳6ヶ月未満の未接種児



麻しん 12月

場所／本原医院・小林医院

対象／15年9～11月生まれ、7歳6ヶ月未満の未接種児

問い合わせ 保健センター

有線 2053 ☎72-9007

行政相談、心配ごと相談

日時 11月19日（金）午前9時～正午

場所 福祉センター

問い合わせ 行政係

有線 2011 ☎72-2201

または社会福祉協議会

有線 2091 ☎72-2998



年金の明日を考えて 11月6日～12日は 年金週間

11月6日(土)～12日(金)は、「年金週間」です。公的年金は国民一人ひとりの老後の生活を国全体で支えていく制度です。その基本となるのが国民年金です。

国民年金はすべての人に共通の「基礎年金」を給付することを目的としています。その費用は、日本に住所のある20歳以上60歳未満のすべての人が加入し、保険料を負担することでまかなわれています。

これは公的年金が「世代と世代の支えあい」という世代間扶養の考えで成り立っているからです。この機会に、年金についてもう一度考えてみませんか。

公的年金ここがポイント

終身給付 老齢年金は受け始めてから、亡くなるまで生涯支給されます。

物価スライド 年金額は物価の変動により調整され、将来にわたって年金の実質的価値を維持します。

国庫負担 基礎年金(国民年金)を支払う費用の3分の1を国が負担しています。

税制上の優遇 納めた保険料は、全額社会保険料控除の対象になっています。

国の運営 社会全体で世代間扶養を行う仕組みをとっている公的年金は、国が責任を持って運営しています。

問い合わせ 社会保険庁長野社会保険事務局

☎026-267-6700

12月4日～10日までは 第56回人権週間 期間中に相談所を開設

12月10日は人権デー。そして、12月4日(土)～10日(金)までの1週間は人権週間。今年の重点目標は、「育てよう一人ひとりの人権意識」です。

この週間の一環として、相談所が開設されます。相談は無料で、秘密は固く守られます。

日時・場所 12月10日(金)午前9時～正午、福祉センター

相談内容 いじめや体罰、虐待など子どもにかかわる問題。セクハラや性的差別など女性にかかわる問題。親子や夫婦、近隣、境界、借地、借家、相続などの問題。

人権擁護委員(敬称略) 清水啓一(荒井)、坂口末男(十林寺)、池田貢(菅平)、井沢きい子(萩)

問い合わせ 長野地方法務局上田支局 ☎23-2001

上小地域の ごみ問題を考える シンポジウム開催

日時 11月13日(土)午後1時30分～4時

場所 上田信用金庫本店「しんきんホール」

内容 佐賀県伊万里市でのNPO、佐賀大学、市民団体、行政の連携したごみ問題への取り組みについて講演していただき、その後会場の皆さんと意見交換をします。

講師 福田俊明さん(NPO法人伊万里はちがめプラン理事長)

染谷孝さん(佐賀大学農学部助教

授)

問い合わせ 上田地域広域連合
ごみ処理広域化推進室

☎23-2104

納期限は 11月30日です 個人事業税(後期分)

個人事業者の皆さんに納めていただく「個人事業税」は、長野県の産業の活性化や、福祉充実のための貴重な財源です。

納税通知書は、11月中旬、個人事業者の皆様にそれぞれ送りますので、11月30日までに、お近くの銀行や農協、郵便局で納税してください。口座振替のご相談や、不明な点は、上小地方事務所税務課へ問い合わせください。

問い合わせ 上小地方事務所税務課 管理課・課税第1係

☎25-7117

火は消した？ いつも心に きいてみて 秋の火災予防運動

秋の火災予防運動が、11月9日から15日まで行われます。

建物火災の出火原因の一つにコンロの消し忘れがあります。天ぷら油を家庭用のコンロで加熱し続けると、20～30分で発火します。

このような火災を防止するには、火をつけたら絶対にその場を離れない。離れるなら火を消す。そうした習慣をつけることが必要です。

なお期間中、消防団各分団で模擬火災訓練が行われますので、ご

真田の里かかしコンテスト入賞者決定 宮島守夫さん(石舟)に町長賞

8回目を迎えたかかしコンテストの表彰式が10月13日に行われ、石舟の宮島守夫さんが町長賞を受賞しました。

宮島さんの作品は、ほうきに乘ったハリーポッターのかかし(写真)で、風向きで360度回転可能なものです。

宮島さんは、「ハリーポッターなので、空中に浮いている感じを出そうと思いました。かかしはここ15年ほど毎年作るけど、向きが変わったり動くほうが、効果がある感じがするね」と話していました。

審査結果は、次のとおりです。(敬称略)

真田町長賞 宮島守夫(石舟)

真田町農業委員長賞

原田幸子(田中)

信州うえだ農業協同組合長賞

坂口さなへ(下原)

優秀賞 清水さと子(中横道) 清

水たけ子(下原) 傍陽小学校ひま

わり学級・ひなやまの家

審査員特別賞 小宮山知(横沢)

小宮山広望(横沢)

問い合わせ かかしコンテスト事務局(農林係内)

有線2032 ☎72-4330

協力をお願いします。

統一標語 「火は消した? いつも心に きいてみて」

ラッパ吹奏会 11月14日(日)午後2時、文化会館

第15回消防音楽隊定期演奏会

11月20日(土)午後2時、

文化会館

問い合わせ 真田消防署

有線2009 ☎72-0119

これからの季節 油流失事故に ご注意ください

毎年これからの時期、灯油等を取り扱う機会が多くなり、油類の流失事故が発生しています。

次の点に注意し、油流失事故をなくすようご協力をお願いします。

点検すること

①ホームタンクが固定されているか傾いていないか点検しましょう。
②バルブや配管に亀裂や漏れがないか、またタンクの残量を定期的に点検しましょう。

取り扱いの注意点

①ポリタンクに小分けするときは、絶対にその場を離れないようにし

ましょう。小分け後は、バルブやコックなどを完全に閉めましょう。
事故が発生したら

①事故発生時には火災の危険があります。消防署に速やかに通報しましょう。

②河川に油が流入した場合は、少量でも水道水や、魚類、農作物等に大きな被害を与えることがあるので、消防署、役場、保健所などへ通報しましょう。

③河川へ流入しないように、土砂などで応急処置をしましょう。

④河川などに油が流れているのを発見した場合は、消防署や役場生活環境係へ、速やかに通報しましょう。

問い合わせ 神川水系水環境保全対策協議会(真田町・上田市・東御市) ☎22-4100

入山にはご注意を！ 11月15日から 狩猟期間が始まります

11月15日から2月15日まで狩猟期間となります。猟期間中は県内外から多くの狩猟者が町内の山へ入ることが予想されます。

山へ入る場合は、目立つ服を着る、鈴のような音の鳴るものを身に着けるなどして、十分にご注意ください。

問い合わせ 農林係

有線2024 ☎72-4330

17年1月1日から 自動車リサイクル法が スタートします

自動車所有者は、①リサイクル料金の支払い、②廃車するときは、自治体に登録された引取業者に引き渡すことが、義務付けられます。

リサイクル料金は、来年1月1日以降の新車の場合は購入するとき、現在お持ちの車は最初の車検時まで、車検を受けずに廃車する場合は廃車時に、リサイクル料金を管理する法人として国の指定を受けた(財)自動車リサイクル促進センターにお支払いいただく必要があります。料金は、自動車のリサイクルなどに使われます。ご理解をお願いします。

問い合わせ 自動車リサイクルシステムコンタクトセンター

☎03-5673-7396



町長解職投票が行われます。

真田町長の解職の賛否を問う投票が、12月5日（日）に行われます。棄権することなく、必ず投票しましょう。

投票の方法は

投票用紙に、

- ・解職に賛成の人は、賛成欄に解職の請求を受けている者(町長)の氏名を書いてください。
- ・解職に反対の人は、反対欄に解職の請求を受けている者(町長)の氏名を書いてください。

期日前投票ができます

告示日翌日の11月16日(火)か

ら、投票日前日の12月4日(土)まで、役場町民ホールで期日前投票を受付けています。

時間は、午前8時30分から午後8時までです。前もってお送りする「投票所入場券」を、投票の際にご持参ください。

病院などでの不在者投票

県の選挙管理委員会が指定した病院や施設などに入所している人は、入院（入所）先の病院などで不在者投票が行えます。

不在者投票を希望される人は、入院先の病院、施設などでご確認ください。



投票日当日の投票

投票日当日の投票は、午前7時から午後8時まで、町内26ヶ所の投票所で行います。

事前にお送りした「投票所入場券」に皆さんが投票する投票所名が書かれています。当日はこの券をもって入場してください。

問い合わせ 選挙管理委員会
有線2011 ☎72-2201

さなだ ゆうほう番組表 (11/6~12/5)

放送時間は、夕方6時30分～（再放送は翌朝6時～）となります。
（おはなしの世界へ、学校・保育園だよりは、夕方4時30分～）

日	曜	番組名	出演者
6	土	おはなしの世界へ「ねずみのつくった あさごはん」	／おとぎの会 鎌田洋子さん
7	日	学校だより「がんばった運動会・畑」	／菅平小学校
9	火	駐在所だより	／真田駐在所 丸山巡査
11	木	身近な税の話「税を知る週間について」	／上田税務署
13	土	おはなしの世界へ「星の銀貨」	／おとぎの会 海瀬徳子さん
14	日	保育園だより「おいしいね！！」	／すがだいら保育園
16	火	みんなの健康「明るく楽しいくんちゃんち」	／憩いの家 くんちゃんち
17	水	図書館の窓	／図書館
18	木	生活のしおり	／JA長支所増田生活指導員
20	土	おはなしの世界へ「秋のカーテン」	／おとぎの会 荒木克子さん
21	日	学校だより「思い出の修学旅行 6年生」	／傍陽小学校
		みんなの食生活「生活習慣病の予防ー私達は何を食べたら良いの？」	／保健センター 山崎栄養士
23	火	さなだ通信	／町内から
24	水	庭木の管理	／真田町造園協同組合 堀内久夫さん
25	木	農業アドバイス	／真田営農センター
27	土	おはなしの世界へ「なら梨とり」	／おとぎの会 小林つた江
28	日	保育園だより「長寿会のみなさんとやきいも大会」	／そえひ保育園
30	火	公民館だより「スポーツは楽し」	／スポーツ振興係
2	木	生活環境係から	／生活環境係
4	土	おはなしの世界へ「ちいさなクレヨン」	／おとぎの会 佐納良裕さん
5	日	学校だより「クラスの活動 6年生」	／長小学校

戸籍の窓

ご両親からのメッセージ
元氣な明るい子に育ってね!



山田恋花ちゃんとお母さん

9月届け出分

真田町イメージキャラクター

真田幸村

♡いつまでもお幸せに

(斎藤 士朗 萩
清水 淳子 丸子 町)

(中村 光宏 萩
小澤 ゆき 白田 町)



©杉浦茂

☆お誕生おめでとう

山田 恋花 (大直 輔美 下 原)

松崎 優介 (好直 人子 中 組)

青木 世那 (剛 穂 下 原)

内海 沙樹 (誠美 一香 下 原)

田中 佑弥 (秀人 千絵子 下 原)

宮原 健 (充 子 下 原)

赤尾 太翔 (学 千恵子 下 原)

納税と使用料

11月30日(火)

- ・固定資産税
- ・国民健康保険税
- ・介護保険料(普通徴収)
- ・有線放送使用料
- ・保育料
- ・町営住宅使用料

クリーンキャンペーン

持ち帰ろう!

散歩中の犬のふん

□ごめいふくをお祈りします

柳澤 宗次 80 真 田

神林今朝昭 74 竹 室

遠江 りん 77 大 日 向

塚田 佳男 78 横 尾

西牧 和雄 74 穴 沢

小林たつ子 78 横 尾

快“腸”ですか?

一般的に便秘は秋から冬にかけての空気の乾燥する季節に発生し、悪化しやすい傾向があります。夏は暑さのため自然と水分を多くとりますが、冬になると水分摂取が減る上、寒さで尿量が増えることもあり、腸管内の水分量が減ってしまいます。すると、便は乾燥して硬くなり、出づらくなってしまうのです。

かといって、夏と同じように水分を多くとればすぐに便秘解消というわけではありません。食事では、腸内のお掃除をしながら、善玉菌のエサとして腸内環境を整えてくれる食物繊維を意識してとることが大切。この時季に出回る大根・にんじん・いもなどの根菜類、白菜・春菊などの青菜、白滝やきのこなどを鍋にしていかがでしょう。

農作業も落ち着き徐々に寒くなるこの時期は運動量も減りがち。足上げ体操で腹筋を維持したり、20～30分歩いてみたりしましょう。また、朝トイレにゆっくり入っている時間がないために、慢性の便秘になっている小中学生がいることも心配です。便意がなくても毎朝トイレに行く習慣を。

水道工事当番店

11月の水道工事当番店です。

工事店名	月 日	11 月
金井設備商会(株) ☎72-2118 有線 3356	*	2 15 28
(有) 駒屋商店 ☎72-3696 有線 2373	*	3 16 29
(有) 真田建設 ☎72-2019 有線 5430	*	4 17 30
石巻設備 ☎73-2021 有線 4454	*	5 18 *
(有) 長崎商店 ☎73-2511 有線 2368	*	6 19 *
(株) アサヒ興業 ☎72-3414 有線 5333	*	7 20 *
(有) ドーム管工 ☎72-0771 有線 4383	*	8 21 *
山崎設備工業(有) ☎73-2322 有線 4210	*	9 22 *
(有) 信濃空調 ☎72-5706 有線 6249	*	10 23 *
若林設備工業所 ☎72-3166 有線 5332	*	11 * *
イチノセ管工 ☎72-3000 有線 5216	*	* * 24 *
浅間設備(株) ☎72-3938	*	12 25 *
菅平設備 ☎74-3933	*	13 26 *
岩淵住設 ☎74-4122	1	14 27 *

カメラニュースは、町の中の様々
な出来事や話題をお届けしてい
ます。



● 境内に響き渡る歓声 曲尾の宮原神社で、6年ぶりに子ども相撲

9月12日、曲尾の宮原神社で秋祭りが行われ、6年ぶりに奉納子ども相撲が行われました。

宮原神社は、曲尾と萩両区に氏子を持つ諏訪社系の神社。今年は御柱の年であることから盛大にお祭りを行おうと、子ども相撲が行われ、100人以上の人が集まりました。当日は、赤ちゃんが泣くのを競い合う泣き相撲や、勝ち抜き相撲が行われ、最後の役相撲で小結、関脇、大関が決まりました。秋晴れの空の下、子どもたちの熱戦に、境内には歓声が響き渡っていました。



● 消防標語入りポスター 26点の作品が町長、教育長表彰に

町内の小学4年生から6年生を対象に、今年も消防意識向上のための標語入りポスターが募集され、155点の応募の中から24点が町長表彰に、2点が教育長表彰に選ばれました。この中から、今秋と来春の町内火災予防用のポスターに半田謙太くん（傍陽小6年／写真左）と浅野諒子さん（本原小4年／写真右）の作品が使われることになりました。受賞者は次のとおり。作品は11月5日から11日まで役場町民ホールに展示されます。町長表彰（菅平小）伊藤チカ、河崎りこ、古川太陽（長小）大久保棕平、木島沙織、山口桜、一之瀬

久幸、金井優大、倉島理沙、小宮山春奈、塚田真理奈、宮澤麻理（傍陽小）小林まき子、小林航平、武捨秀紀、三井果穂、三井翠（本原小）生駒直子、岩崎桃子、高寺智里、横沢亜希子、横澤美咲、教育長表彰（菅平小）立花力也、山口達也



● 秋晴れの空の下、さわやか健康づくり 高齢者体育祭を開催

第30回の高齢者体育祭が、10月1日、運動公園グラウンドで開催されました。

体育祭には、雲一つない秋晴れの空の下、町内31の長寿会から727人が参加。昨年よりも90人ほど多い参加となりました。

開会式後に全員でラジオ体操をした後は、すがだいら保育園児が遊戯を披露。かわいらしい演技に会場から拍手が送られました。

競技はダルマ引きや、タイ釣り、など11種目の競技が行われ、長寿会の皆さんが、一日スポーツを楽しみました。堀内仁長寿会長

（下横道）は、「長寿会の大きな目標は、健康づくりです。一日楽しく競技して健康づくりに励みましょう」とあいさつしていました。



● カボチャにおかめの絵 新潟県の会が町内で指導

9月27日、新潟県栃尾市の「栃尾おかめカボチャの会」の会員5人が役場で町内農家の皆さん42人ほどに観賞用カボチャにユーモラスな絵をかく指導をしました。

同会は、外皮が途中で切れて人間の顔かたちに似ているおかめカボチャにアクリル絵の具でおかめや、ひょっとこの絵をかくことを広め、全国コンクールを開催。地

域活性化を図っている会です。

昨年町農業委員会が同市を視察したことをきっかけにこのカボチャの種をもらい、今年農業委員有志が栽培したカボチャの装飾指導に訪れたものです。同会の今井厚会長は、「真田町からも今年のコンクールに出品してもらって、交流の輪を広げたいと思います」と話していました。

● 米寿、金婚を迎えた方に 町からお祝い

今年度町内では、44の方が、88歳の米寿。42組のご夫婦が50年の金婚を迎えました。

9月21日と27日には、町長がこれらの家庭を訪問してお祝いの賞状と、記念品を贈りました。

金婚を迎えた塚田宏、礼子さん夫妻（横尾・写真）に感想を伺うと、宏さんは、「順風満帆とはい

かないですが50年は、短いようで長いというか、ひとしお感謝があります。祝ってくれる社会や、町があることに感謝したいです」と。礼子さんは、「二人健康で今日の日を迎えられたことがなよりの喜びです。家族や身の周りの人に愛情を注いで暮らしていきたいと思います」と話していました。





野口みずき選手が 菅平高原を訪れ、 クロカンコース 記念碑の除幕式

菅平小中学校と
真田中学校の子どもたちが、
野口選手と一緒にコースを走った。

アテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずき選手が、10月12日、菅平高原を訪れ、自身の名前が付いたクロスカントリーコースの記念碑除幕式に出席しました。

「野口みずきクロカンコース」と名付けられたこのコースは、菅平牧場内にある標高1600m、高低差約50mのアップダウンが続く約2kmの

周回コース。野口選手は6年前から、菅平で合宿を行っていて、3年前にこのコースが整備されて以降、好んでトレーニングに使ってきました。

除幕式会場に、首から金メダルを下げた野口選手が到着すると、集まった約300人から大歓声があがりました。除幕式が野口選手や、箱山町長、小島菅平高原観光協会

理事長たちによって行われた後、菅平小中学校全児童生徒と、真田中学校の陸上競技をしている生徒、約150人が、野口選手と一緒に同コースを走りました。

野口選手は「コースに名前を付けていただき、言い表せない感動を感じています。北京に向けてがんばります」とあいさつしていました。

季節の中で

広報で毎月特集をしています。実は広報を作る中で一番不安になるのは、特集の取材を始める前です。特集として組み立てるには、事前にある程度取り上げる内容について知らなければ、どんな人に取材をして、どんなことを聞けばいいかわからないからです。

今月の菅平のレタスについての特集は、菅平の伊藤忠成さんご一家に大変お世話になりました。8月ころのレタス農家にとって非常に忙しい時期にレタスについて、色々教えていただき、写真も撮らせていただきました。深く感謝しています。(なべ)

インターネット情報

<http://www.sanada.or.jp/>

<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

わたしたちの町の人口

11,765人(+7)

男 5,831人(+7)

女 5,934人(±0)

世帯数 3,788戸(+1)

平成16年10月1日現在 ()内は前月比